

# 第33回 〈ケア〉を考える会-岡山

■日時 **2017年7月29日(土) 14:00~16:00**

■会場 **川崎医療福祉大学 本館6階6001演習室**

[http://www.kawasaki-m.ac.jp/mw/access/index.php/\\*](http://www.kawasaki-m.ac.jp/mw/access/index.php/*)

※建物の1階(防災センター)から備え付けのスリッパに履き替えてお上がり下さい。

駐車場は、福祉大学の職員・学生駐車場(病院とは道をはさんで北側)が利用できます(1時間100円)。

■会費：無料。どなたでも参加できます。本を読んでなくても(持ってなくても)気兼ねなく参加できます。

## ■読書対話

### 『ひとりで苦しまないための「痛みの哲学」』

(熊谷晋一郎 他 著 / 青土社)

第2章 快樂はどこからくるのか? (上野千鶴子×熊谷)

第3章 予測不可能性を飼いならす (鷺田清一×熊谷)

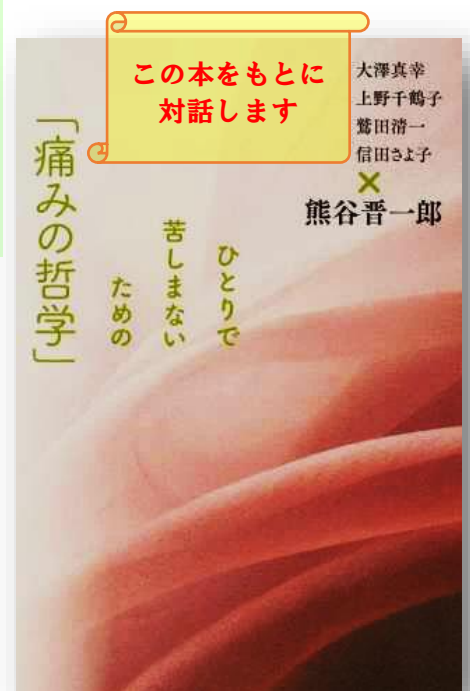
■私は恋愛とは接近の技術だと思っていますので、「お友達のいないあなたに恋人ができるわけないでしょう」という当たり前のことをまずは思います。お友達をまずつくる。そのお友達の中に異性のお友達をつくる。(上野)

■痛みというのは本人が耐えるしかない。だれかが代わりに痛むということはありません。けれども、そばでじっとついていてあげる、あるいはいろいろ話をして気を散らしてあげることができる。そういうかたちで相手を孤立させないという知恵が、見舞いの文化には働いていると思います。(鷺田)



熊谷晋一郎 (くまがや しんいちろう、1977年 - )  
……「脳性まひです。電動車いすに乗っています。小児科医です。『リハビリの夜』(医学書院)という本を書きました。当事者研究に興味を持っています。」  
(Twitter より) ……  
東京大学先端科学技術研究センター准教授。

■問い合わせ：[884michiya@gmail.com](mailto:884michiya@gmail.com) 090-5366-1497 (林)



## 「〈ケア〉を考える会-岡山」とは……

▼岡山(倉敷)で、〈ケア〉について学び考えています。

〈ケア〉といえば、「看護」「介護」「支援」「世話」などが頭に浮かびます。超高齢社会を生きる私たちにとって、切実な課題の一つです。そして、〈ケア〉は、もっと広く捉えることもできます。たとえば広井良典氏は、ケアを「人と人との間の『関係性』という意味に理解してみたい」と述べ、さらに、個人がコミュニティや自然などとつながっていくような方向でもケアを考えます。「『ケアの哲学』とでもいうようなものが必要」とも言っています。また、鷺田清一氏は「臨床哲学」の重要テーマの一つに「ケア論」を置き、「ケア」の奥深さをさまざまに説いています。それに、「死生観」、「生」と「死」について、リビングウィル、終末期医療も、〈ケア〉を抜きには考えられません。

この会では、〈ケア〉について、身近なところから理念的なものまで、そして、狭い意味から広い意味まで、幅広く深く考えていきます。

▼この会の参加者は、医療・看護・介護・福祉・教育などの現場、または地域や家庭などで〈ケア〉に関わっている方、大学や学校で〈ケア〉の教育・研究に携わる方や学んでいる方、さらに、その他、〈ケア〉に関心や関係のある方などです。〈ケア〉に関わる人たちが学び交流することで、明日からの力を得る〈場〉となることを願います。この会は参加者の“つながり”を大切にします。

※ ホームページ ⇒ <http://okayama-care.jimdo.com/>

